

## クラス会だより

### 紫友会だより

昭和 19 年 9 月 応化卒業 関根 文三

昭和 19 年 9 月の卒業以来 63 年になる。我々のクラス会は毎年秋が定番だが、最近は春も何人かでということが定番化しつつある。それでも準備・連絡は結構手間がかかるので、この 6 月から幹事 4 人このうち 1 人が毎年交替の主幹事となり運営に当ることになった。

今年の春は 3 月 27 日、横浜の馬車道「木曾路」で 11 人が集まった。辺りはすっかり変って、年寄りのノスタルジーを感じる。60 年以上も経ってしまって当然といえば当然だが、会が終わってからは山の手・フェリス学園の辺りを散策して桜を愛でた。



秋は 10 月 16 日、東京は田園調布の「甲羅」で 15 人が出席。何年も会っていない仲間もいて盛会であった。事務的な話のあと近況報告を中心として話が弾んだが、あれよという間に話題は急拡大、一昨年初頭に会で出した文集「自由の翼六十年」に基づいたものなど、戦争中の思い出は幾つも出たが、何れも強烈であった。自分の携わった仕事の苦労話も出た。もっと喋りたい者もあったが、時間の都合で割愛してもらうしかなかった。なお欠席者には配布した同じ近況報告のコピーを送った。料理まずまず。齢はとったといっても仲々の酒の量となった。元気さも酒の量に比例するのだろうか。来年春、また皆元気で会うことにしている。今度はどの位の酒量になるだろう。

### 応化 27 期クラス会便り

間宮 浩、関口 克

昭和 24 年（1949 年）卒業 27 期恒例のクラス会が、今年は平成 19 年 6 月 27 日（水）の午後、ホテルニューグランド本館 5 階「スターライトルーム」で「港を眺めながらの会」として企画され、同期の 15 名の参加を得て和やかな雰囲気の中で行われた。会場のホテルニューグランドは昭和 2 年の創業で今年は 80 周年にあたる年と聞き、同期生の多くが傘寿を迎えたこともあって格別の思いでこの場所でのクラス会開催となった。

京会席料理を楽しみながら出席者から順次近況の報告があり、今なお現役で活躍している方、趣味のコーラス、日本舞踊で舞台に立っている方、同窓の囲碁会に参加している方、絵画、写真、仏像の彫刻にいそしんでいる方、テニス、ゴルフ、散策、ウォーキングで体力維持を図っている方、その他ボランティア活動、自治体の役員などで社会貢献をし

ている方など、健康に配慮しながら夫々充実した日々を送っている様子が紹介された。



後列左より 杉崎・関口・桜井・五十幡・石川・鳥越・間宮・府川・鈴木（隆）・小林  
前列左より 伊東・原田・鈴木（昭一）・吉沢・市原

鈴木昭一兄が持参された「名教自然碑」のレプリカを拝見し、学生時代の思い出を新たに有意義なひと時を過ごすことが出来た。

## 応化三期会懇親会

昭和 30 年応化卒業 金指 光洋・菊地 昭二

日時：平成 19 年 11 月 20 日(火) 17 時～19 時 30 分、場所：いせ源新橋店(鮎鱈鍋)、出席者：14 名(卒業：27 名)



ほぼ年一回、11～12月に幹事回り持ちで、同期会を行っています。

今回出席者の年齢は74～77才となっていますが、みんな酒も進み元気そのものです。その元気の源は、それぞれに違っていますが、趣味として、俳句を詠んで酒を楽しむ人、スキューバダイビングに挑戦している人、ダンスを楽しむ人、碁・麻雀を楽しむ人、ガラス細工に興味をもっている人、和太鼓を楽しむ人、富士山を中心とした風景写真の撮影を楽しむ人、スポーツクラブで体力維持、ゴルフを楽しむ人、等；又、仕事として現役で働いている人、地域の福祉に協力している人、中国の民間事業に協力している人、自らの実績・経験を本として出版している人、等；本当に多彩です。従い、この世代に多い、病気・孫の話は殆どなく、面白い会話を交わす事が出来るのが特徴です。

来年のクラス会を楽しみにしています。

## 燦々会だより

松澤 忠弘

2007年11月1日、銀座7丁目のSun-mi 高松で燦々会（応化昭和33年卒業生クラス会）の懇親会が、佐藤、田丸、鳥飼、山中の4先生をお招きして開かれた。会員の出席者は12名といつもより少なく寂しい感否めなかったが、それを先生方が補って下さった形になり、終始和やかな雰囲気楽しいひとときを過ごすことができた。

先生方は、山中先生を除けばわれわれより10年以上も年上なのに真にお元気で、今もってご多忙な日々を送っておられるとのことであった。



われわれも、70歳を超えてほとんどが現役を引退し、絵画、写真、陶芸などそれぞれのやり方で自分の生活を楽しんでいる。なかにはありきたりの楽しみ方では物足りず、海外に出かけて楽しみをつくらせている人もいます。

その一人北畑君は、一昨年はパリ、今年はボルドーに長期滞在してフランスの文化や歴史を探訪している。また米山君は、いままでにアフガニスタンやチベットなどの辺境の地で様々な冒険に挑んできたが、今年はモンゴルの広大な草原を3000kmあまりもランドクルーザーで走り回って来たとのことである。

ところで2008年は卒業50周年を迎えることから、電化の同期生と合同でクラス会を開くことを計画している。電化と応化は入学した最初の1年間、同じクラスで教養課程を学んだ仲間であり、卒業40周年のときも合同でクラス会をやった経緯がある。合同クラス会が実現すれば10年ぶりの再会が楽しみである。

## 三四会 便り

昭和 34 年応化卒業 鈴木 茂

化学工業科をクラスの 34 名が昭和 34 年に卒業したことが三四会<sup>さんしかい</sup>の名の由来だが、 $3+4=7$  でラッキーセブンを期待する意味もある。

三四会で最も大きなイベント、親睦会の今年の様子を感想を交えて以下に報告し、クラス会便りとする。親睦会は、年 1 回、横浜を主として関東地区で行うのが通例だが、昨年<sup>去年</sup>の箱根での会で初めて関西地区開催が決定された。関西開催では宿泊が必要となるので、松村さんが会員になっている「エクシブ」を利用させてもらうこととし、交通の便や周辺の観光地などを考慮して、「エクシブ琵琶湖」を会場に選定した。時期は、紅葉の最盛シーズンであり、彦根城築城 400 年祭期間中の 11 月 21 日とした。



橋本氏の蒞蓄とともに、珍味「ふぐ子糠漬け」も加わり、2次会を盛り上げた

出席者は、正会員 10 名、準会員（正会員の配偶者）7 名で、夫妻は 5 組だった。

欠席者の近況として、体調不良や親の介護など、年齢相応な事情が増えていることを報告するとともに、音信不通の齊藤氏、池氏の消息入手に努めることとした。出席者一人一人が近況や取り組んでいること、三四会への想いなどを披露し、学生時代とは異なる面が感じられた。これもそれぞれの豊かな人生経験の賜物ではないかと思う。

瞬間に予定の宴会時間が過ぎたので、全員が別室に移り、橋本氏差し入れの「越乃寒梅」をメインに、ワインや梅酒などを飲みながらの 2 次会となった。宮武氏の精巧な「切り絵」に感嘆し、福木氏の「手作りケーキ」を賞味して、大いに盛り上がった。松村さんの現役並み活躍を筆頭に、準会員の女性達が趣味や旅行など、自分の世界を楽しんでいる様子が覗えた。今後、会が元気な女性陣に席卷されないか、少々心配の種である。

一夜明けた 22 日は、この時期の琵琶湖東岸地区特有の変わりやすい天候となったが、湖東三山の紅葉観光やゴルフなど、思い思いの楽しい 1 日を過ごしたとのことであった。

## 昭和 35 年卒電気化学科・化学工業科合同クラス会

昭和 35 年卒業 政野 守雄

我々昭和 35 年(1960)卒は、卒業後 40 年に当たる平成 12 年(2000)に従来電化、化工別々に開催していたクラス会を 35 年卒に因んで横浜さんご会と名づけ合同で開催することにしました。以来毎年開催し 8 回を数えました。毎回 30 人以上が集まっています。



前回は平成 19 年 7 月 7 日に八重洲富士屋ホテルで開催し、電化 14 人、化工 17 人の出席を得て旧交を温めました。

## 昭和 41 年卒クラス会を開催

昭和 41 年応化卒業 橋本 虎雄

卒業してから 41 年、平成 19 年 11 月 3 日、文化の日にクラス会を開催した。穏やかに晴れて、最高のクラス会日だった。

まず、国大の井上研究室に集合、立派な総合研究棟の 5 階。ここで井上氏より大学の近況と、2 回目を迎え、国大化学会会長樋口修一郎氏が実行委員長を務めておられる国大ホームカミングデーへの参加協力の要請があった。

次に物質工学科化学棟西側のヤマモモの木の下へ移動。我々が卒業記念として贈ったもの、弘明寺から移植されていて、立派な大木になっていたが、木の手入れに同窓会の協力を頂いたとのこと。それには井上さんのご尽力大。ビールを飲みながらしばし談笑。

ちょうど学園祭の日だったが、特に学部や研究室を紹介するような展示等は見当たらなかった。名教自然の前を通り構内を散策。模擬店の列。簡単な昼食。広い敷地は緑が多く、建物も明るくきれいで、立派なキャンパスに驚いた。

バスと電車で桜木町へ出て、青空の下で、お互い会話を楽しみながら歩く。久しぶりに見る赤レンガ倉庫一帯や大槓橋はすっかり変貌を遂げていた。

やがて日も傾き、田中氏手配の中華街・華都飯店へ。会食のみ出席の諸氏も合流。乾杯、井上氏から大学の様子、お互いの近況等々、時の経つのも忘れ談笑で盛り上がり、最後に「みはるかす」で締めくくった。出席者は天野、井上、岩科、岩淵、植村、大隈、神澤、北澤、小峰、佐久間、田中、野上、橋本、平井、藤平、森本の 16 名。

都合で帰る 2、3 人を見送った後、二次会へ。横浜らしい雰囲気クラブで水割りのグラスを傾けながら、さらに尽きぬ話に花が咲いた。現役終盤を澆刺と過している方、第二の人生を新たな仕事や趣味で活躍している方、いずれも充



横浜中華街・華都飯店にて H19.11.3

実した日々の様子。

医者との付き合いが欠かせない方もおられたが、65年も動き続ければどんな優秀な機械でも不具合は出てくるもの、それはそれで受け入れて楽しい毎日を心がけよう、ということで、お互いのパワー、エネルギーを交換し合い、来年もこの時期に横浜での再会を誓った。

なお欠席の奥村(先約あり)、金城(全国ダンススポーツ大会)、児島(四国の田舎で余生)、清水(63才からの手習いで調理師専門学校)、志村(先約あり)、鈴木(娘さんの展示会)、浜野(木彫クラブ展覧会)、平山(札幌出張)、廣瀬(草加市文化祭)、吉岡(祝い事)の諸氏からはメールで元気な近況報告を戴いた。また、野上氏(tynogami@nifty.com)がメールアドレスを集約しているので、未だの方は急ぎ連絡を。

## 昭和43年2部卒 応化・機械合同で紅葉の箱根で同窓会

昭和43年2部卒業 北島 惇夫

今年も11月17、18日で応化・機械合同総勢16名で同窓会「弘明寺会」をしました。応化同窓会は9年前から、



1泊しながら行ってきましたが、6年前から機械と合同で行うようになりました。万年幹事の山岸君、町田（興）君の苦勞と尽力によるものです。

応化は山岸、町田（興）、町田（勝）、松沢、奥原、高橋、楠瀬、松岡、北島、機械は坂本、橋本、山本、山田、海瀬、出澤、鈴木君が参加しました。

今年は箱根ということで、大雄山から明神が岳を越える紅葉狩りハイキングをした後、集合しました。結構きつかったですが、60も半ばの歳の割には、皆さん健脚でした。温泉につかった後、夕食では、この1年の話をそれぞれがして盛り上がりました。

現役をリタイアするメンバーの数が多数派になってきて、話題は身の回りの事が多くなってきましたが、まだまだ弘明寺時代の熱気は皆さんもっています。

これからも毎年つづきます。来年も箱根1泊2日で実施がきまりました。写真を見て、懐かしく思われる方々是非参加下さい。

連絡先は山岸君 yoshit-y@me.scn-net.ne.jp までお願いします。

## 昭和49年卒下田の会

昭和49年電化卒業 横山幸男

今年も、2007年12月1日（土）午後1時より、横浜中華街重慶飯店本館にて開催しました。昭和49年卒同期会です。下田昭氏が音頭を取っているため下田の会と名づけてみました。期せずして今回も昨年と同じく13名の参加で、多少メンバーの入れ替えがありました。皆さんまだ現役で忙しい時期でもあり、参加者数は伸び悩みですが、次回はより多くの参加を望んでいます。この記事を見て是非とも参加したいと思われる方は、同窓会事務局または、横山宛（横浜国立大学工学部HPを参照してください）にメールを送信してください。集合写真はお店の前で撮られたもので、左から、朝田、河村、戸田、安西、下田、横山、吉富、飯沼、松倉、名川、稲葉、酒井、渋沢、の各氏です。風体に変化した人とそうでない人がおられますが、話をしてみると、皆昔とちっとも変わっていないことが良く分かります。

